

市内公共施設等における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

登別市では「新しい生活様式」「北海道スタイル」の実践を前提として、市内公共施設等の利用を行っております。
施設管理者は適切な感染予防対策を講じるとともに、利用者には施設の利用条件による利用をお願いし、感染予防対策に努めます。
また、施設利用者の皆さま一人ひとりは、その時、そのときの状況を自ら考えながら、感染拡大を防止するための取組を行ってください。

感染予防の基本的な考え方

ソーシャルディスタンス(人と人との距離)の確保
マスクの着用・咳エチケット
手洗い・手指消毒
利用者・職員等の体調管理

全施設共通の利用条件

- ・収容率の50%を目安に、人との間隔はできるだけ2m(最低1m)確保して利用してください。
- ・各施設・各部屋ごとの利用人数の制限をさせていただきます。
- ・風邪症状(のどの痛み、咳、発熱など)がある方は利用できません。
- ・利用者は、石けんや消毒用アルコールなどによる手洗いの励行をお願いします。
- ・利用者は、マスクの着用など咳エチケットの励行をお願いします。
- ・利用者に検温をお願いする場合があります。
- ・1時間に1回程度の定期的な換気をしてください。
- ・飲食は、水分補給を除き、原則としてお控えください。
- ・近距離や人混みで大きな声を出すことや歌うことはお控えください。(例:カラオケ、合唱、声楽、詩吟、民謡など)
- ・呼気が激しくなるような運動、接触を伴う競技はお控えください。
- ・団体等で利用する場合は、団体ごとで利用者の把握をお願いします。
- ・利用後の清掃、除菌、手洗いを徹底してください。

施設管理者が配慮すること

- ・職員等の健康管理を徹底する。
- ・職員等の咳エチケット、マスクの着用、手洗い・手指の消毒を徹底する。
- ・清掃、消毒、換気を徹底的に行う。
- ・多くの利用者が接触する場所、手が触れる箇所を最低限にする工夫をする。
- ・人との間隔を確保するため、座席等のレイアウトや衝立ての設置などを工夫する。
- ・利用者に対し、「新しい生活様式」「北海道スタイル安心宣言」による利用を周知し、注意喚起する。

イベント等の開催について

《イベント等開催時の感染予防対策の一例》

- ソーシャルディスタンスの取組
- 定期的な換気
- 北海道コロナ通知システムの活用
- 参加者の検温

※その他、道外・札幌市からの参加者については、
国や北海道の基本方針等を参考としてください。

地域の行事等

- ・適切な感染防止対策を講じたうえで実施
- ・実施は感染拡大の状況等を踏まえて慎重に判断
- ※飲食を伴う行事等については、感染リスクが高まることから、さらに慎重な判断をお願いします。

【参考】国・北海道の公表資料

- 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」

(リンク先:厚生労働省ホームページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

- 「北海道スタイル」(リンク先:北海道ホームページ)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/newhokkaidostyle.htm>